



# 第1回 西成特区構想部会（令和4年7月5日開催）

## 委員からのご意見・質問と区の考え方

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
1	南委員	【外国人に対する施策について】 最近、西成区において、ベトナム人の方の人口が増えている。 区役所として、そういった外国人に対する施策を行う等の視点が抜けているように感じる。	現在、大阪市として、外国人の方の人口が増加しています。そのような背景を踏まえ、大阪市全体として、地域の方と外国人の方とのつながりづくりをする必要があると考えています。 今後、市で議論が進んでいく中で、西成区としても、委員の皆さまからのご意見を踏まえた議論を進めていければと考えています。	当日の回答のとおり	総務課
2	南委員	【コロナ対策について】 昨年、西成区にある簡易宿泊所に住んでいる方が、コロナに罹患した際、周囲に迷惑をかけないようにと野宿をされ、屋外で亡くなっておられるのが発見された事例がある。 そういった方に対して、行政として何か対策できることがあったのではないかと。	コロナに罹患された方がいた場合、区役所から電話で病状等を聞き取っています。聞き取った内容により、入院していただいたり、ホテル療養を勧めたりしています。 電話を持っておらず、なかなか連絡が取れない方については、簡易宿所に住まわれている方でしたら、管理人の方を伝手に連絡を取るなど、できる限りの対応を行っています。	当日回答のとおり	地域保健
3	南委員	【コロナ対策について】 コロナに罹患したが、携帯等を持っていないで、行政に連絡を取る手段がない方がいた場合、地域の支援団体の方がお金を出して支えている現状がある。決められた予算ではなく、そのような困っている方に対し、支援できるような柔軟な予算編成をすることはできないのか。	—	新型コロナ対策について、区保健福祉センターでは、府・市の取組に連携した対応を行っています。 区独自の予算計上は予定しておりませんが、対応については今後も関係先と連携して行っています。	地域保健

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
4	東委員	【外国人に対する施策について】 西成区で、ベトナムの食品や中国の食品を販売しているお店が増加している。 そういった食品売り場の方と地域の方がコミュニケーションをとれるような、コミュニティを作ること はできないか。	地域の方と連携しながら、様々な行事の中で、地域の方と外国人の方がコミュニケーションを取れるよう、声掛け等を行っていかればと考えています。	外国人住民と地域住民との相互理解が十分に 進んでいないことは、大阪市全体の課題として認識しており、大阪市民民局において外国につながる市民のエンパワーメント推進に向けた調査・ 検討が行われているところです。 この調査・検討結果を踏まえ、区としても、地域 の実情に応じた相互理解の促進にかかる取り組み などを検討してまいります。	市民協働課
5	東委員	【地域商業の活性化について】 地域に新しい施設等が出来てきているが、反対 に昔からあるような商店街等が廃れてきており、 店を畳んだりする方が増えている。 そのような場所に支援を行ったり、子ども達に昔 の方の功績を伝えるようなことをしていただけれ ばと思います。	令和元年度、令和2年度に実施したエリアリノ ベーション事業において新今宮フェスティバルを 開催し、様々なお店を対象にしたスタンプラリー 等のイベントを行い、昨年度はまち歩きイベント を開催しました。コロナ禍ですので、状況を勘案 し、地域活性化に向けた支援を行っていきたく と考えています。	当日の回答のとおり	総合企画課
6	南委員	【新今宮エリアブランド向上事業について】 新今宮という、西成区にとらわれないエリアをブ ランドしていくというのはすごく良いアイデアだ と思う。しかし、この事業が地域に認知されてい ない現状がある。それにも関わらず、令和3年度 の運営方針の目標が、ウェブページ等の掲載3件 や、SNSのロコミ分析などであり、目標達成と なっているが、目標設定が弱いのではないか。 地域をブランディングする以上、その地域の方の 利益を上げることが必要になってくるので、今後 は地域の事業者の経営が安定するような目標設 定をしてほしい。	新型コロナウイルスの影響が大きく、訪れる宿泊 客等の数がかなり減っている状況があります。現 在、そのような状況を勘案し、西成区の歴史や浪 速区の歴史を含めたスタディツアーを企画してい ます。このスタディツアーを地元の人が仕事と して捉えられるように育成をしている段階です。 スタディツアーを地域に定着させ、たくさんの方 に来ていただけるようにしていきたいと考えていま す。 本事業は、民間の取組みの自走化や新今宮エリ アのイメージアップを目的としており、経済効果 を目標に設定するのは難しく、また、令和4年度 が最終年度の事業となっています。	当事業におきましては、令和5年度より地域にお けるプラットフォームが実施主体となり事業の自 走化を計画しております。民間ならではの魅力的 なコンテンツの開発、積極的な情報発信を行い、 更なる新今宮エリアの魅力を高めることにより、 にぎわいが増幅、地域の活性化にも寄与するも のと考えております。	総合企画課